

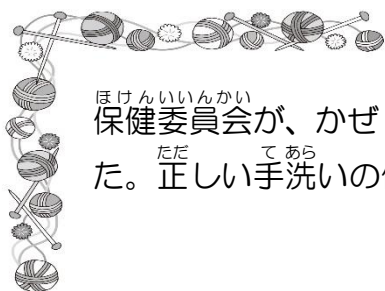
ほけんだより2月

令和2年1月31日

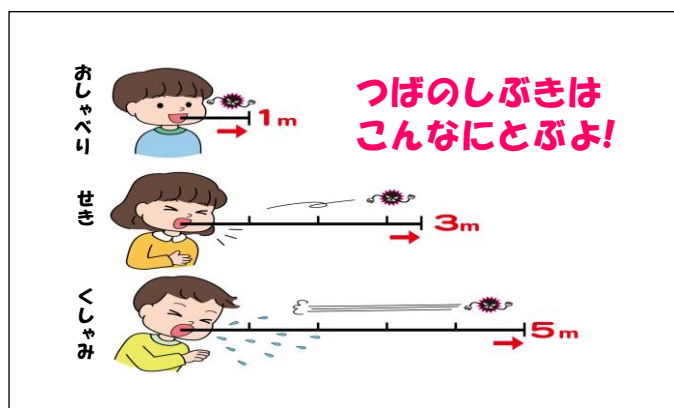
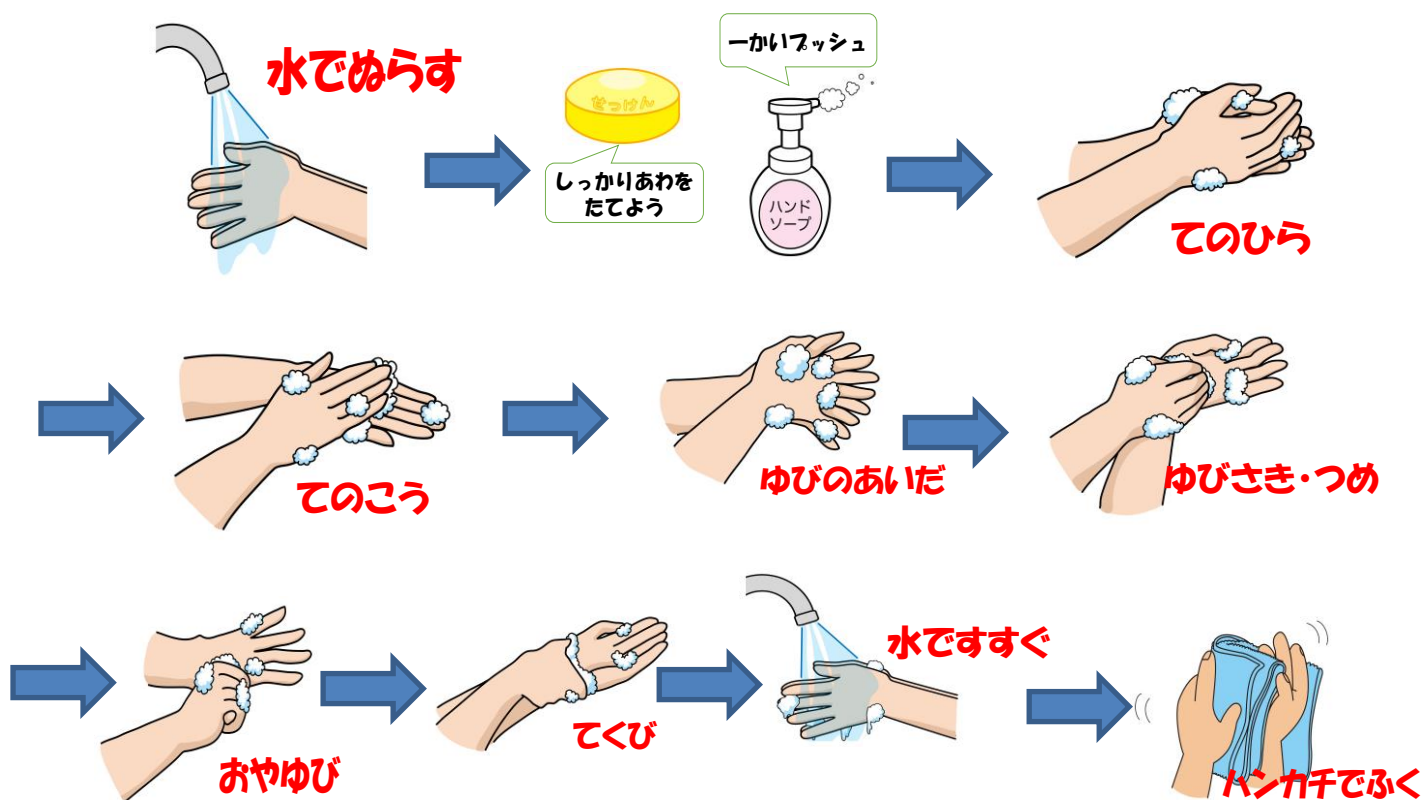
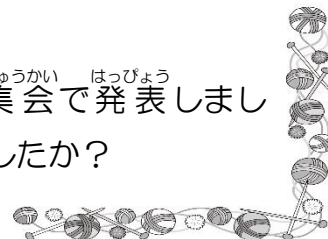
弥生が丘小学校

保健室

2月3日は節分です。「季節を分ける」ことを意味するこの日、病気や災難を鬼にたとえ、豆をまいて無病息災を願います。そして、2月4日は立春。暦の上ではこの日から春が始まります。とはいえ、まだまだ寒さの厳しい日もあります。油断せずに体調管理をしっかりとこないましょう。



保健委員会が、かぜ・インフルエンザの予防について、児童集会で発表しました。正しい手洗いの仕方・正しいマスクの付け方はわかりましたか？



～保護者の皆様へ～

感染性胃腸炎は、佐賀県内でも、インフルエンザに次いで報告の多い感染症です。嘔吐物の処理方法には十分ご注意ください。

冬に気をつけたい

感染性胃腸炎

感染性胃腸炎とは

症状

主に嘔吐・下痢・腹痛などを起こします。年間通して見られますが、冬季に特に流行します。

原因菌

ノロウイルス、腸管出血性大腸菌（O157）、サルモネラ属菌、カンピロバクター、ウェルシュ菌、セレウス菌など

感染力

たえば、感染性胃腸炎の代表的な原因菌であるノロウイルスはとても強い感染力を持っています。感染した人の便や嘔吐物1グラムあたり100万～10億個ものウイルスが含まれている上、少量で人に感染してしまいます。

感染拡大を防止せよ！

感染経路

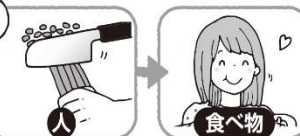
①



食べ物

汚染された二枚貝を加熱が不十分な状態で食べると感染。カキが有名です。

②



食べ物

感染した人が調理したものを食べると感染。

③



感染した人の便や嘔吐物に触れたり、感染した人と接触するなどして、原因菌が口から入ると感染。

感染

二次感染を防ぐ！

手順

嘔吐物の処理方法

準備しておくもの

使い捨て手袋、マスク、エプロン（ガウン）、使い捨ての布やペーパータオル、ビニール袋、次亜塩素酸ナトリウム、バケツ、その他



乾燥したウイルスが舞い上がることもあります。換気をしっかり行いましょう



処理に使用したものや嘔吐物などが付着した着衣は処分するのがベスト



処理後はしっかりと手洗いを。可能ならシャワーなどを浴びましょう

① 処理する人以外を近づけないようにする



② 使い捨て手袋、マスク、エプロンをつける



③ 嘔吐物を使い捨ての布やペーパータオルで拭く



④ 布やペーパータオルはすぐにビニール袋へ



⑤ 嘔吐物が付着していた床とその周囲を、0.1%次亜塩素酸ナトリウムをしみこませた布やペーパータオルなどで覆うか、浸すようにして拭く



⑥ 手袋は表面についた嘔吐物を包むように裏返してはずし、④と同様に処分する

